

30 . 最初のマクパ

フィリピンの熱帯気候は、鑑賞植物だけでなく、人々の料理の味覚を満足させる植物の生息地になっています。マクパ、あるいはマコパは、実をつける植物の中であって、古いも若きも、期待を裏切らない植物です。そのやわらかく、果汁の多い果物は、さわやかにさせるとともに、栄養があります。

昔、イロコスの海岸にあるサムトイという小さな村に、大変信仰深い人々が住んでいました。彼らの熱心な信仰への報いとして、天の神々と山の精霊たちは、彼らに繁栄を惜しみなく与えました。その集団のすべての人は、例外なく、金持ちになりました。

近くの村々の人々は、サムトイの人々の幸福をねたましく思うようになりました。彼らは最近サムトイの人々が繁栄するようになった秘密を知りたいと、偵察することにしました。

サムトイの人々が何か欲しい時には、いつでも、ただ大きなドラを鳴らしていることを、ねたましく思っている近隣の人々が発見するのに、長い時間はかかりませんでした。このこうもりの形をした楽器は、偉大な山の精霊、アポ・ポリナエンによって、彼らに授けられた、と言われていました。

そこで、ねたましく思っている近隣の人々は、その大きなゴングを盗むことにしました。彼らは、サムトイの人々を襲って、大きなゴングを自分たちのものにするために、慎重な準備をしました。

しかしながら、サムトイの人々は、そのたくらみを知りました。彼らの大きなゴングの安全を確かなものにしたいと、彼らはそれを村の外に運び出し、それを森の端近くに隠しました。そして、彼らは村に帰り、侵入者たちへの抵抗の準備をしました。

激しい戦いが続く中で、どちらの側にも多くの死者がでました。それらの死者の中には、その大きなゴングを埋めた人々もいました。

勇敢な勇士たちの強力な防衛によって、襲撃者たちは、その村を乗っ取ることはできませんでした。彼らはゴングを手に入れることはできませんでした。なぜなら、その時には、もう既に森に隠されていたからです。

戦いの後、敵の敗北によって、サムトイの人々

は、襲撃者はもう襲ってこないことを知りました。そこで、彼らは、その大きなゴングを埋めた人々に呼びかけました。しかし、彼らはみんな死んでいたのです。誰もゴングの場所を突き止めることはできません。そしてサムトイの人々は当惑しました。

それから、奇妙なことが起き始めました。雨は降らなくなるし、畑は乾いてきました。水不足のため、作物は育たなくなりました。一番悪いことは、彼らには、偉大な山の神、アポ・ポリナエスと交信することができなくなったことです。人々は、これらのすべての不幸の原因は、彼らがもはやあの大きなゴングを持っていないからだ、と信じるようになりました。もし、またあの大きなゴングさえ見つけ出せたなら、そして以前の場所に戻せたなら、事態は変わってくるだろう、と信じるようになったのです。

ある日、小さな少年が森へ、根菜を探しに行きました。彼は何も見つけることができなかったので、彼の空腹を満たすために、彼は途中の木についている実を集め始めました。彼の注意は、大きな木になっている、小さなゴングに似ている、果汁がたっぷりの赤い実にはひかれました。彼はそれらのいくつかを集めて、家に帰りました。

村人は、少年が森の大きな木から採ってきた果物を見て、不思議に思いました。彼らは、その果物が、以前彼らが持っていたゴングを思い出させたので、不思議に思ったのです。

彼らの疑問に答えて、その少年は、どこでその果物を手に入れたか告げました。彼らに催促されて、彼はその場所に連れて行きました。人々が、多くの赤い、果汁たっぷりの果実を見た時、彼らのひとりが、「マクパ」と言いました。それは「たくさんさんのゴングの木」という意味です。

彼らの好奇心をさらに満足させるために、男たちは、ゴングがその下に埋められていないかと思って、慎重に木の周りや下を掘りました。彼らは掘りに掘って、ついに、木の根の下に、硬い土の層がある所にたどりつきました。すべての人が驚き、歓喜の声をあげたことには、その大きなゴングがそこにあったのです！喜びで叫び、人々は木の周りで踊りました。そして、彼らは村まで行進して帰り、彼らの愛するゴングを運びました。直ぐに、彼らはそのゴングを前の場所に取り付けました。今や、彼らはその大きなゴングをまた鳴らせるようになりました。それは、またもう一度、アポ・ポリナエンと交信ができるようになったということの意味しました！

フィリピン 神話と伝説

出来事を祝って、村の長は、村人をみんな集まるように呼びました。ふさわしい儀式が行われ、その後、村の長は、前に進み出て、ゴングを鳴らしました。ゴングの鮮明で、美しい旋律の音が、村を越えて、丘や谷にこだますると、群衆から畏敬と喜びの叫びがあがりました。

ゴングの音が静まる間もなく、すべての人が驚いたことには、直ぐに空に暗い雲ができあがりました。すると豪雨がやってきて、日照りは終わり、畑を緑にし、さまざまな作物が育ち、繁栄が再びもたらされました。

そして、あの大きな木はどうしたでしょう？それは、植え直されて、「マクパ」(多くのゴングを持った木)と名づけられました。

練習問題

新しい言葉の学び

A群とB群を結びつけなさい。綴りだけ答なさい。

A

- 1 . prosperity
- 2 . gong
- 3 . envious
- 4 . plot
- 5 . resist
- 6 . invaders
- 7 . Stout defense
- 8 . communicate
- 9 . restore
- 10 . prodding

B

- a. repeated call for action
- b. speak to
- c. attackers
- d. progress
- e. big bell
- f. brave defense
- g. put something back again
- h. fight back
- i. plan
- j. eager to have something that others have
- k. tower

空欄を埋めなさい。

正しい答えで空欄を埋めなさい。

1 . 人々は神々によって、()を受けま

30 . 最初のマクパ

- した。それはかれらが()だったから。
- 2 . 隣村の人々は、()の人々の幸運を()になりました。
 - 3 . サムトイの人々はみんな、何かを手に入れるため、大きな()を鳴らしました。
 - 4 . 偉大な山の精霊は()と呼ばれました。
 - 5 . サムトイの人々は、大きなゴングを()に隠しました。
 - 6 . 襲撃者たちは、()を攻略することができず、()も得られませんでした。
 - 7 . ゴングがどこにあるか知る者はいませんでした。それを埋めた男はみんな、()で死んだからです。
 - 8 . その少年は、()の赤い実がついた大きな木を見ましたが、それは小さな()のように見えました。
 - 9 . その少年は、彼が見た()がある森のその場所へ人々を連れて行きました。
 - 10 . 「マクパ」という言葉は、()という意味です。

明確化と発展の評価

「妬みは、悪の根」ということが時々言われます。あなたは、賛成ですか、反対ですか。説明してください。